

令和 3 年度学校評価報告書

令和 4 年（2022年）3 月 2 2 日

北海道教育委員会教育長 様

北海道釧路湖陵高等学校長 遠 藤 孝 一 印

次のとおり令和 3 年度の学校評価について報告します。

【定時制】

1 本年度の重点目標

- (1) 生徒個々の実態に応じて基礎学力を身に付けさせ、社会人として必要な力を育成する。
- (2) 勤労の価値を理解し、主体的に自己の進路を開拓する力を育成する。
- (3) 自分と他者を共に大切にし、自己を成長させる意欲と他者と協働する力を育てる。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

【教育活動に対する評価】（定時制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学習指導 学校評価 アンケート 1～3	- 令和 4 年度からの観点別評価、新学習指導要領の実施に向けた研修を行い、実施に向けた方向性を確認した。また、令和 4 年度の取組の進め方を共有した。 - 学校HPを活用した情報発信を行った。保護者への一斉メールを配信する体制を	観点別評価、研修等でしっかりと取り組めることを期待します。
改善方策	観点別評価については、取組を進めながら 1 年間をかけて作成する。評価が、生徒の自己肯定感の向上につながるものとなるよう、研修しながら取り組む。	
生徒指導 学校評価 アンケート 4～9	- 特別指導事故は 1 件。担任からの注意など軽微なものが SNS トラブルで数件あった。日常の取組では、校内巡回を強化し、トラブル発生時は複数の教員で対応すること、統一した指導を行う等、指導体制を確認した。 - 生徒指導部と担任の連携を密にとり、サポート会議（毎月記載）で情報を共有して取り組んだ。さらに、パートナーティーチャー（PT）やスクールカウンセラー（SC）と連携し、専門的な助言を活用しながら生徒を支援することができた。 - 生徒会活動について、新執行部への引継もスムーズに実施でき、経験不足が心配されたが、生徒会行事の企画・運営も滞りなく実施できた。ハロウィン企画・体育大会・予餞会と感染症対策を講じながら問題なく実施できた。	- 丁寧な生徒指導を行っていることを評価します。さまざまな困難を抱えている生徒に寄り添った指導をお願いしたい。 - SNS のトラブルは小さいものを含めるともっと多いと思います。使い方を間違えないよう、指導お願いします。 - 行事がなかなか行えなくて残念ですが、できることを考えて行えればと思います。 - パートナーティーチャー、スクールカウンセラーとの連携による専門的な情報共有は大切だと思います。 100 周年記念事業では、在校生の皆さんに、その意義と同窓会への理解を是非とも深めていただきたいと考えます。
改善方策	特別指導については、指導の基準、指導体制等を再確認するとともに、事後の継続的な指導にも取り組む 今後も Q-U や PT、SC との連携を強化し、生徒理解に努め、教育相談の充実を図る。 創立 100 周年記念事業の取組をとおして、同窓会との連携を強化し、生徒会行事のさらなる活性化を図る。	
進路指導 学校評価 アンケート 10～18	- 各進路行事の実施にあたっては、事前の目標設定と事後の振り返りの指導を重視し、進路のしおりやキャリアパスポートを活用して取り組んだ。 - 釧路教育局やハローワーク、若者サポートステーション等と連携した進路支援や上級学校、企業等の協力による進路行事を実施した。 4 年生の進路指導において、全教員で組織的に取り組むことができた。釧路公立大学や室蘭工業大学など進学 5 名、就職は 14 名のうち 11 名が一般求人に応募して内定した。2 月末までに、卒業生全員の進路が決定した。	- キャリア教育の中での進路指導をお願いする。 - 中学校は不登校の生徒も多かったと思います。ハローワークやサポステとの連携を更に図っていただきたい。 - 進学、就職ともに素晴らしい結果だと思います。日頃の進路指導の賜だと思います。 - 卒業生全員の進路が 2 月中に、さらに国公立大学、一般求人だと、素晴らしい結果と思います。 - 一般求人に応募して頑張る心、立派である。
改善方策	キャリア教育の全体目標うを踏まえ、各進路行事で育成する能力を明確にし、全体計画・実施計画の見直しやキャリアパスポートの内容改善を図る。	
健康安全指導 学校評価 アンケート 項目なし	- 授業や行事での感染症対策、給食時の感染症対策に取り組み、コロナ禍において学校活動を継続することができた。 - 支援が必要な生徒については、実態把握、個別の教育計画を作成した。サポート会議で全教員が共有し、支援を行った。	- 個別の計画を作成するのは大変かと思いますが、宜しくをお願いします。 - 生徒自身のセルフコントロール力を育成することを願う。
改善方策	生徒の実態を把握し個別の教育指導計画の充実を図る等、組織的・計画的な支援の実践を図る。また、感染症や地震・津波などに対する、防災、減災への意識を向上させる指導の充実を図る。	

【学校運営に対する評価】（定時制課程）

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
信頼される学校づくり アンケート項目なし	- 印刷物やWebページ、メール連絡網で学校の活動を周知した。メール連絡網は登録率が更なる活用の鍵となる。 - 体験入学会や中学校での説明を実施した。 - 自己評価と反省会議、学教評価については関連を持たせて一体化できた。	- Webページの充実は、情報発信に重要だと思います。 - HPを活用した情報発信は大切です。工夫をして更に進めること。 - 保護者や地域との連携を、更に図っていただきたい。
改善方策	コンプライアンスを徹底し教育公務員としての自覚を高める。Webページの工夫・改善や中学校訪問・学校説明会等を通じて本校の教育活動を中学校・家庭・地域にPRする。中高の教員間連携を強化する。	
組織運営 28～32 アンケート項目なし	- 教育計画に評価の観点を盛り込み、それを基準に学校評価を行い反省会議に結びつけることができた。それを学校改善に結びつけるために、次年度計画に反映させたい。 - 超過勤務はある範囲内に収められているが、時期により進路指導や湖定祭等で業務が多くなることがある。部活動指導時間は適正に守られている。	- 教員間のコミュニケーションを図り、業務の仕分け等、ひとりの教員に過負担とならない体制づくりが必要。 - 時間外の勤務が少なくなっているが、どうしても必要な部分が出てくると思いますので、臨機応変の対応をお願いします。
改善方策	教育計画に盛り込んだ評価の観点について、取組を正しく評価できるものとなっているか、評価可能な具体的なものとなっているか等について今後も見直しを図り、具体的な課題を設定してその解決に取り組む。	
教職員の資質向上 33～36 アンケート項目なし	- 研修は計画的に行われている。今後は、外部の人材も活用しながら、長期的な研修課題に取り組んでいきたい。 - 感染防止が先に立ち、思うように自己研修が進まないが、継続的な研修に取り組む下地を醸成したい。 - 節目ごとの面談で目標管理は少しずつ進んでいる。 - 機会ある度に服務に関する情報を提供し、教職員の規律を守る意識が保たれている。	外部人材の活用を図り、継続的な研修を進めることを期待する。
改善方策	実践的な研修会の充実、教育者としての意識の高揚を図る。	
公表方法	学校ホームページ	

3 その他 ご意見等ありましたらお願いいたします。

- 湖陵の定時制の良さが地域に浸透していることが嬉しい。
- 教職員の尽力に敬意を払います。今までの教職員の生徒に対する熱意を今後とも継承していただきたいと思います。